

平成 30 年 4 月 11 日

各位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

三菱UFJリース株式会社が リース会社で国内において初めて発行するグリーンボンドの引受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、三菱 UFJ リース株式会社（以下、三菱 UFJ リース）が発行する第 1 回グリーンボンド⁽¹⁾（5 年債 100 億円）の引受けにおいて単独主幹事を務め、本日、同グリーンボンドが条件決定されましたのでお知らせします。本件はリース会社が国内で初めて発行するグリーンボンドとなります。

三菱 UFJ リースは、環境・エネルギー事業を中期経営計画“**Breakthrough for the Next Decade**～今を超え、新たなる 10 年へ～”における重点産業分野の一つに位置付け、環境負荷の少ない持続可能な社会の実現に向けてさまざまな活動に取り組んでいます。今般発行するグリーンボンドにより調達された資金は、同社の取り組む太陽光発電向け融資事業に充当することを予定しております。本件を通じて、資金調達手段の多様化を進めると共に、地球温暖化をはじめとした環境課題の解決に資する設備投資をサポートしていくことを企図しています。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、炭素クレジットやクリーンエネルギービジネスにおけるコンサルティングサービスの提供、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006 年に国連責任投資原則 (PRI: Principles for Responsible Investment) が制定されて以来、世界の ESG 投資⁽²⁾が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。当社は引き続き、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件グリーンボンドの概要)

債券名： 三菱UFJリース株式会社第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）
（グリーンボンド）

取得格付： A+（R&I）、AA-（JCR）

年限： 5年（2023年4月17日償還）

発行額： 100億円

利率： 0.180%/年

払込期日： 2018年4月17日

主幹事： 三菱UFJモルガン・スタンレー証券（単独）

- (1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。三菱UFJリースのグリーンボンドは、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、第三者機関による評価を取得している（第三者機関：Sustainalytics）。
- (2) ESGは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉であり、ESG投資はこれらの要素に配慮している企業を重視・選別して行う投資のこと。

以上